

証券コード
6267

ゼネラルパッカー通信

Investors' Guide

2022年7月期(第61期) 中間
2021.08.01→2022.01.31

世界の品質を”包装”で守る



包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



国内市場では
包装機械、生産機械の
事業連携により、
安定的な収益と成長を確保しつつ、
グローバル市場での
売上高比率40%以上の
実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
ここに当社第61期第2四半期累計期間
(2021年8月1日から2022年1月31日まで)の
営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。
ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、
今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **牧野 研二**

業界動向と営業活動の成果

はじめに、当社の主力事業であります「包装機械事業」と「生産機械事業」の業界動向と販売状況についてご説明いたします。

包装機械事業の業界動向は、経済産業省の「生産動態統計」では、当社が位置づけられている製袋充てん機の生産額は、2021年7月期下半期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復基調にあり、前年同期比116.0%と増加しております。当社の包装機械事業の売上高についても同様に前年同期比

130.3%となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復基調にあることを背景に前年同期を上回りました。

生産機械事業の業界動向は、経済産業省の「生産動態統計」では、当社が位置づけられている製パン・製菓機械の生産額は、2021年7月期下半期の生産額が前年同期比80.8%と減少しています。こちらは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いているものと思われます。

当社の生産機械事業につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるものの、前年同期比120.2%と増加しております。

2022年7月期上半期の決算概況と通期業績予想

2022年7月期上半期の売上高は、4,322百万円(前年同期比0.9%増)で増収となりました。主要因といたしましては、包装機械事業においては、製袋自動包装機及び包装システムの販売実績が減少したことに伴い441百万円の減収となったものの、生産機械事業において、大型プラント及び付帯設備の販売実績が増加したことに伴って480百万円の増収となったことによるものです。また、営業利益につきましても784百万円(前年同期比51.9%増)と増益となりました。主要因としましては、包装機械事業での売上総利益率の改善や生産機械事業での増収によるものです。

2022年7月期の通期業績予想は、2022年3月に修正計画を開示させていただきました。

売上高につきましては、受注状況が堅調に推移していることから期初予想数値を据え置き8,600百万円としております。

利益につきましては、2022年7月期上半期の実績及び、下半期における売上総利益の見込や費用執行計画等を総合的に勘案した結果、営業利益は1,045百万円、経常利益は1,050百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、730百万円と上方修正をいたしました。

第6次中期経営計画の取り組みについて

前期からはじまった第6次中期経営計画(2021年7月期～2023年7月期)では「さらなる躍進に向けグローバル展開の拡大を目指す」を基本戦略としております。

第5次中期経営計画では、「連結グループの基礎固めから成長

基盤構築の時期」と位置づけ、収益の安定成長に取り組んでまいりました。

第6次中期経営計画では、「連結グループの安定成長基盤整備の時期」と位置づけ、国内市場での安定的な収益の確保と、グローバル市場での売上高比率40%以上の実現に向けて取り組んでいます。

収益の長期的安定と成長を目指し、第7次中期経営計画へ向けての重要な基盤固めの時期と位置づけており、「顧客ニーズへの対応力強化と課題解決型営業の実践」を販売戦略の中心として、国内市場では包装機械・生産機械の事業連携により安定的な収益と成長を確保しつつ、安全・安心、環境配慮への対応を意識し、新規分野への進出、グローバル市場でのアライアンス強化、3極(中華圏、ASEAN、欧米)販売体制の確立に向けて取り組んでいます。

株主様へのメッセージ

2022年7月期の中間配当は、予定どおり1株当たり25円とさせていただきます。期末配当につきましては、通期予想を上方修正することに伴いまして、期末配当予想を1株当たり35円から45円に増額することといたしました。年間配当予想は1株当たり70円となります。

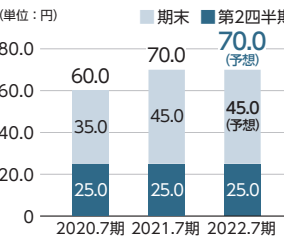
当社は食品や医薬品を安全・安心に包装する技術を通じて、より大きな社会貢献を果たせるよう、一層の努力を重ねるとともに、業績の向上と企業の健全性に努めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

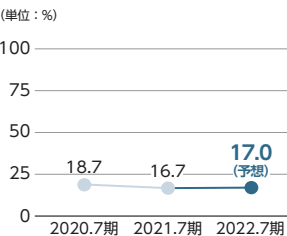
株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指していきます。

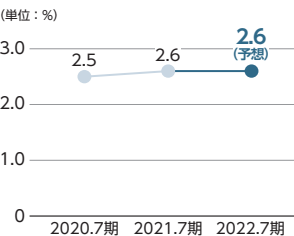
1株当たり配当金



配当性向



純資産配当率(DOE)



経営成績に関する定性的情報

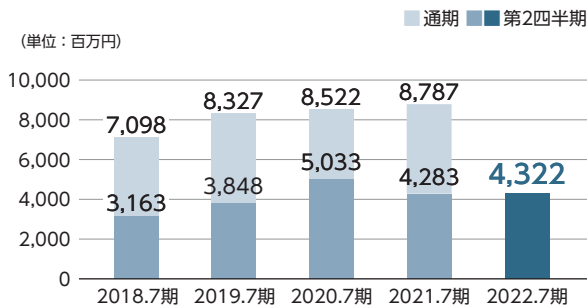
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限により、企業収益は業種による二極化が進み、個人消費や雇用・所得環境には弱さが見られました。また、世界的な半導体不足や資源価格の高騰の影響も顕著になるなど、景気は厳しい状況で推移いたしました。このような状況の中、当社グループはグローバル展開加速に向けた販売体制の確立とグループ会社間の事業連携強化を重要課題として、取り組みを強化してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、包装機械事業において製袋自動包装機及び包装システムの販売実績の減少に

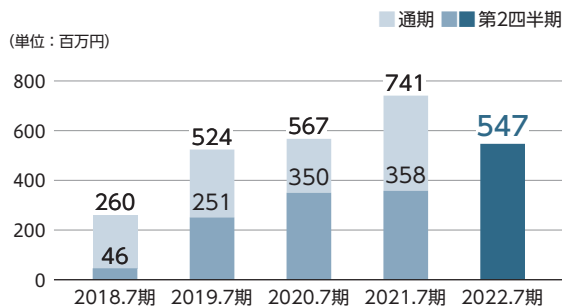
より減収となったものの、生産機械事業における増収が包装機械事業の減収をカバーし、前年同期に比べ38百万円の増収となりました。利益につきましては、生産機械事業における増収効果やグループ全体での売上総利益の改善により、売上総利益が前年同期を上回ったことなどから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。包装機械事業は、売上高は3,608百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益は645百万円（前年同期比15.0%増）となりました。また、生産機械事業は、売上高は714百万円（前年同期比204.7%増）、営業利益は138百万円（前年同期は営業損失44百万円）となりました。

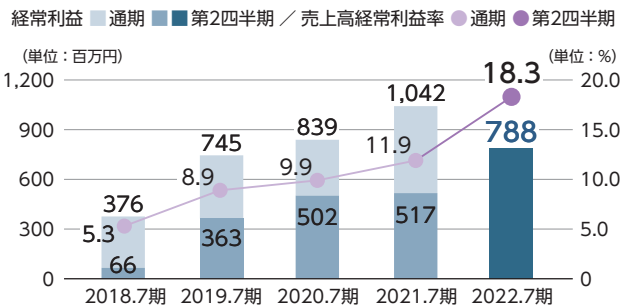
売上高



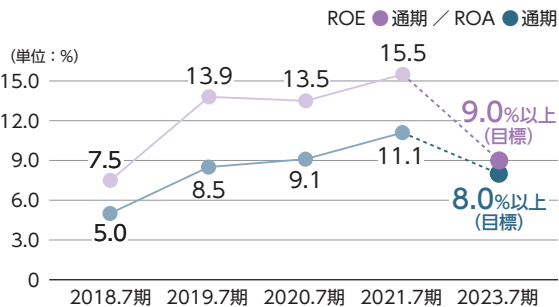
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



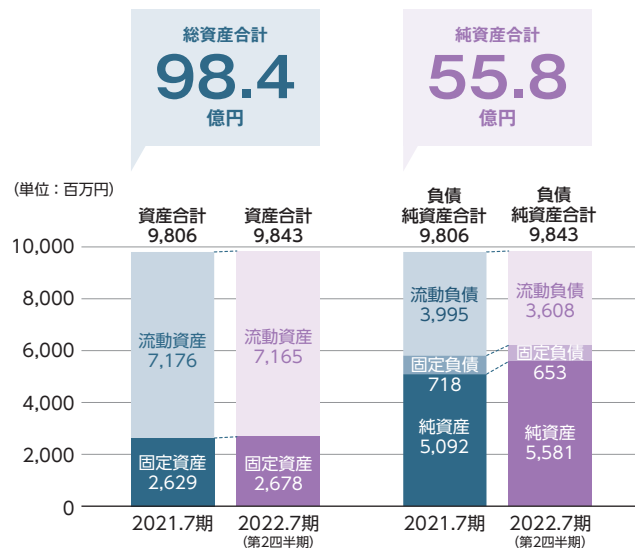
経常利益／売上高経常利益率



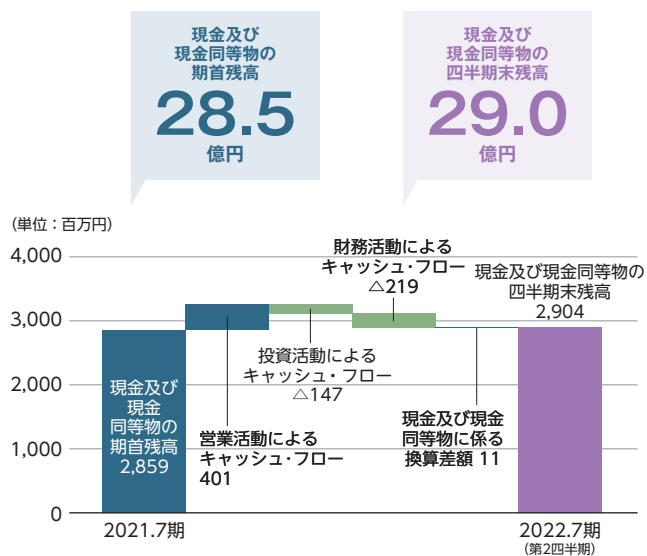
ROE／ROA



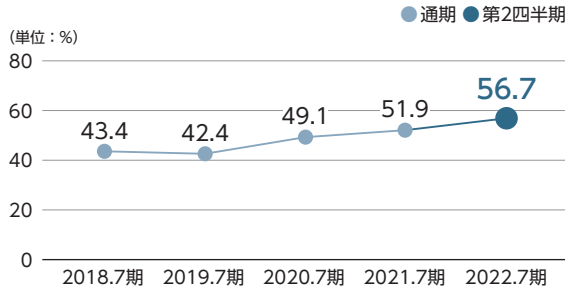
財務状況



キャッシュ・フローの推移



自己資本比率



財務分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,843百万円となり、前連結会計年度末に比べて37百万円増加いたしました。主な要因は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が443百万円減少した一方で、棚卸資産が277百万円、有形固定資産が121百万円、その他流動資産が89百万円、それぞれ増加したためです。

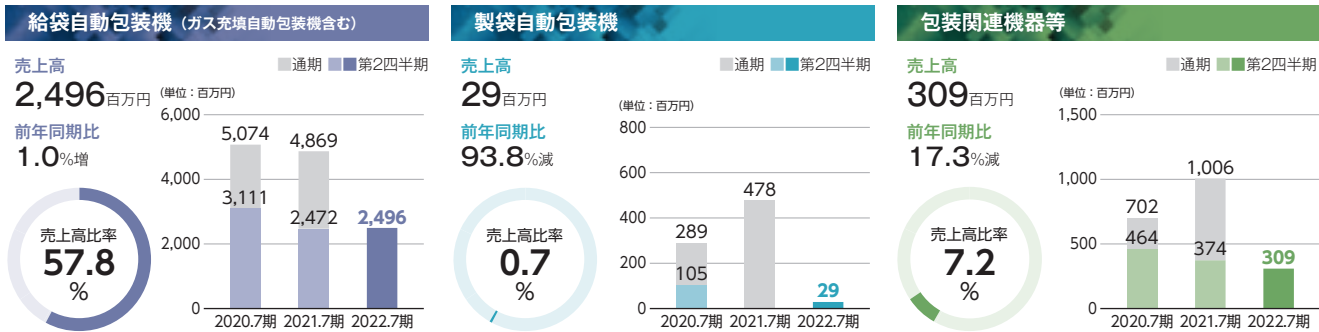
負債合計は4,262百万円となり、前連結会計年度末に比べて451百万円減少いたしました。主な要因は、借入金が143百万円、仕入債務が133百万円、その他流動負債が195百万円、それぞれ減少したことによるものです。

キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果得られた資金は401百万円（前年同期比46.9%減）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益788百万円、売上債権の減少額392百万円であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額276百万円、法人税等の支払額248百万円、その他の流動負債の減少額197百万円であります。投資活動の結果使用した資金は147百万円（前年同期比272.2%増）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出146百万円であります。財務活動の結果使用した資金は219百万円（前年同期比0.6%増）となりました。支出の内訳は、短期借入金の純減額100百万円、配当金の支払額80百万円、長期借入金の返済による支出43百万円であります。

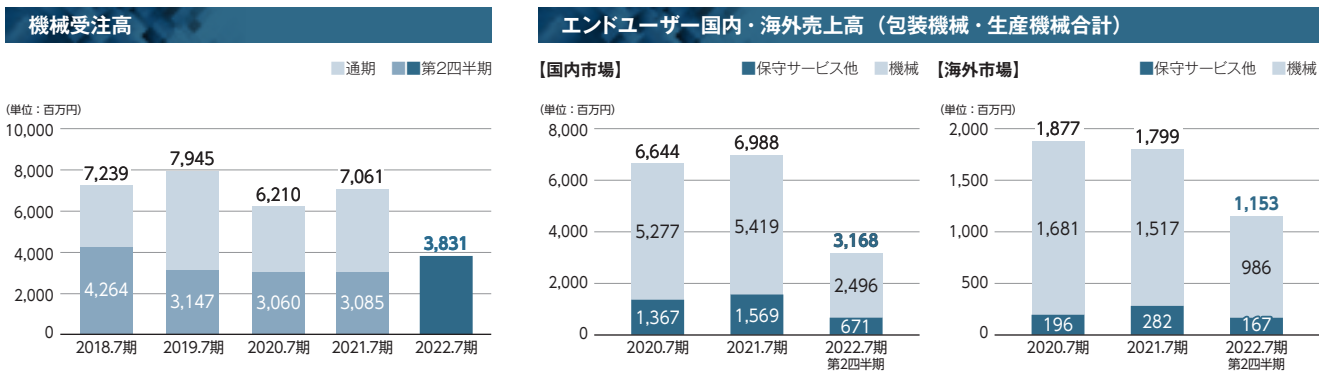
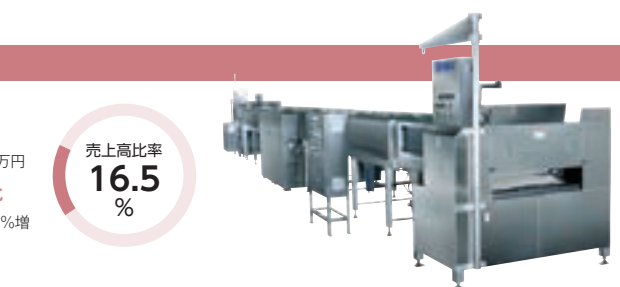
包装機械

包装機械事業におきましては、主力商品であるメカトロハイスベック包装機を中心とした給袋自動包装機の販売実績は前年同期を上回ったものの、製袋自動包装機及び包装システムの販売実績が減少した影響により、売上高は3,608百万円(前年同期比10.9%減)、営業利益は645百万円(前年同期比15.0%増)となりました。



生産機械

生産機械事業におきましては、大型プラント及び付帯設備の販売実績が増加したことに伴い、売上高は714百万円(前年同期比204.7%増)、営業利益は138百万円(前年同期は営業損失44百万円)となりました。



会社概要		
商 号	ゼネラルパッカー株式会社	
英 文 社 名	GENERAL PACKER CO., LTD.	
設 立	1966年2月（創業 1961年12月）	
資 本 金	2億5,157万7千円	
事 業 内 容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、 食品製菓機械の製造・販売	
従 業 員 数	186名（連結） 153名（単体）	
本 社 ・ 工 場	〒481-8601 愛知県北名古屋市長福寺神明65番地 Tel. (0568) 23-3111 (代) Fax. (0568) 22-3222	
東 京 営 業 部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 KDX神田北口ビル4F Tel. (03) 3256-3891 (代) Fax. (03) 3256-3893	
子 会 社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司 General Packer America（2021年8月設立）	
関 連 会 社	錦通日技包装科技（江蘇）有限公司	

(2022年1月31日現在)

役員		
代表取締役社長	牧野 研二	オサ機械(株) 代表取締役
取締役	水野 智之	
取締役	安藤 正行	オサ機械(株) 取締役
取締役	塚本 真也	オサ機械(株) 代表取締役社長
取締役	杉田 篤紀	オサ機械(株) 監査役
社外取締役(監査等委員)	福井 義雄	
社外取締役(監査等委員)	村橋 泰志	
社外取締役(監査等委員)	浅井 一郎	
社外取締役(監査等委員)	森田 卓寿	
取締役(監査等委員)	小関 幸太郎	オサ機械(株) 監査役

(2022年1月31日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	5,600,000株
発行済株式総数	1,798,800株
株主数	613名

(2022年1月31日現在)

大株主		
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社FAMS	270,000	15.03
ゼネラルパッカー従業員持株会	229,300	12.76
MSIP CLIENT SECURITIES	86,000	4.78
ゼネラルパッカー取引先持株会	83,800	4.66
株式会社りそな銀行	78,400	4.36
高野 季久美	77,000	4.28
田中 かな	71,200	3.96
梅森 輝信	53,700	2.99
株式会社日本コストディ銀行(信託口)	42,012	2.33
島末 孝法	39,200	2.18

(2022年1月31日現在)

株主数構成比		
個人・その他	562名	91.7%
その他法人	25名	4.1%
証券会社	12名	2.0%
外国人	10名	1.6%
金融機関	3名	0.5%
自己名義	1名	0.1%

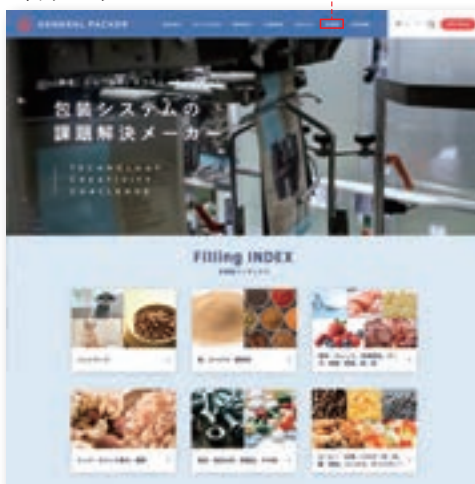
株式数構成比		
個人・その他	1,224,695株	68.1%
その他法人	338,590株	18.8%
金融機関	120,712株	6.7%
外国人	93,705株	5.2%
証券会社	19,627株	1.1%
自己名義	1,471株	0.1%



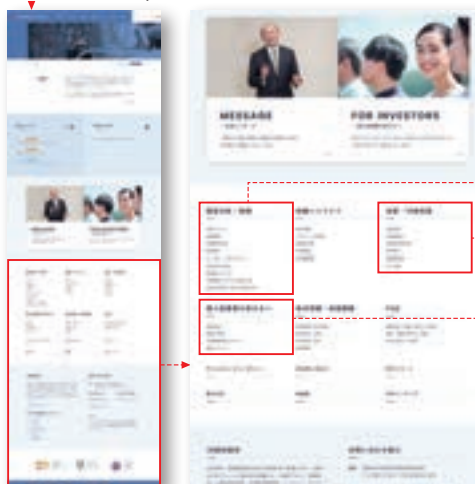
IRサイトでも、詳しい情報を提供しています。

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。
今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

▼トップページ



▼IRページ



主なコンテンツ

経営方針・戦略

当社の企業ビジョンや中期経営計画、CSR情報などをご覧ください。

決算・IR資料室

アナリスト向けの決算説明会の様子が動画でご覧いただけます。

個人投資家の皆様へ

業界情報や事業内容や特長、配当についてわかりやすく解説しています。

<https://www.general-packer.co.jp/ir/>

株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日 期末配当金 7月31日 中間配当金 1月31日 その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 Tel. 0120-707-843 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL	https://www.general-packer.co.jp/

各種手続きのお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等
証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

 包装システムのトータルプランナー
ゼネラルパッカー株式会社

本社・工場 〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地
Tel. (0568) 23-3111 (代) Fax. (0568) 22-3222

東京営業部 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地4
KDX神田北口ビル4F
Tel. (03) 3256-3891 (代) Fax. (03) 3256-3893

